

# **第5次宮代町総合計画**

## **前期実行計画**

**(令和3年度～令和7年度)**

**令和6年度**

**上期進捗状況**

## 第5次宮代町総合計画前期実行計画 令和6年度上期進捗状況一覧表

事業名	ページ	結果	令和6年度上期実施結果	担当
西原自然の森活用事業(里山体験事業編)	1	完了	・「西原自然の森フェスタ&ステップまつり」に向けた検討 ・社会福祉協議会を通じたイベント協力者の募集	環境資源課
西原自然の森活用事業(移築民家活用編)	3	一部未完了	・旧進修館の限定公開に向けた準備 ・旧加藤家住宅における継続事業の実施	教育推進課
新しい村魅力アップ事業	5	完了	・新しい村周辺農地の整備、活用方法の検討 ・既存施設の改修、増築に向けた概略設計の準備	産業観光課
集落で支えあう営農事業	7	一部未完了	・圃場整備工事に向けた用地測量、実施設計の発注 ・土地改良組合役員会議の開催	産業観光課
宮代農業人材育成事業	8	完了	・埼玉県主催の農業大学校就農相談会への参加 ・「宮代町農業担い手塾入塾前研修制度」の周知	産業観光課
東武動物公園駅西口わくわくロード事業	10	未完了	市民から募集したまちづくりアイデアの結果を踏まえた整備エリア、整備方針の検討	まちづくり建設課
まちなかどこでもミュージアム事業	11	完了	・「みやしろ芸術祭」の開催準備 ・主体的に文化芸術活動を行う団体を支援する補助制度創設	教育推進課
みやしろズームアッププロジェクト	13	完了	・月イチまんまる展覧や「みやしろ缶バッジ」による魅力発信 ・特派員のスキルアップのための情報交換会の開催	総務課
遊休資産活用プロデュース事業	15	完了	・庁舎内スペースの有効活用に向けた調整及び庁内共有 ・公有財産活用方針に基づく普通財産の調査	企画財政課
岸遊歩道整備事業	16	一部未完了	・備前堀川入道橋付近のフェンス工事に向けた準備 ・既存遊歩道のバトロールと危険箇所等の修繕	まちづくり建設課
地域のオリジナルパークをつくろう！	18	完了	ワークショップや社会実験の実施結果等を踏まえた公園整備の準備(2か所)	まちづくり建設課
宮代型デマンド交通事業	19	完了	・高齢者等タクシー助成事業の助成券発行 ・次期循環バス事業者選定のためのプロポーザルの実施	企画財政課 健康介護課
広域道路ネットワークの整備(都市計画道路整備)	21	完了	・春日部久喜線(町道第12号線)の用地交渉及び整備準備 ・春日部久喜線(町道第252号線)の新橋梁建設準備	まちづくり建設課
東武動物公園駅東口にぎわいロード事業	23	完了	・物件調査及び用地交渉の実施 ・電線共同溝及び駅前広場の詳細設計の発注	まちづくり建設課
和戸駅周辺活性化事業	24	完了	・産業系土地利用に向けた企業ヒアリングの実施 ・地元住民等との意見交換や地権者との勉強会の実施	まちづくり建設課
姫宮駅西側周辺活性化事業	25	完了	産業系土地利用及び立地誘導等の検討	まちづくり建設課
地域の力となる地区コミュニティセンター事業	26	完了	・町内全地区の区長訪問による地域の現状把握と活動支援 ・関係課や設計事業者等との地区コミセン機能の検討	町民生活課
小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業	28	完了	・ライフステージに合わせた起業創業支援講座の企画、開催 ・各補助金による支援と「事業者の話を聞く会」に向けた調整	産業観光課
身近な場所で子育てサロン事業	30	完了	・子育て応援隊登録者による自主的なサロンの開催 ・アンケート結果を踏まえた子育て情報サイトの更新準備	子育て支援課
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業①	31	完了	・地域団体主体の体験事業の支援と新たな支援策の検討 ・居場所づくりネットワークのあり方の検討	子育て支援課
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業②	33	完了	・支援体制拡充のための関係機関との情報交換、共有 ・利用者の実態やニーズに合わせた支援の継続	教育推進課
進修館オープンカレッジ	34	完了	進修館でのアート活動や2階ロビーの魅力向上、スキップ広場の活用方法をテーマにしたお話し会の開催	町民生活課
おかえりなさい！地域デビュー事業	35	完了	・地域の身近な情報を掲載した「緑じよい通信」の発行 ・落語講演会や交流会の開催	健康介護課
西原自然の森活用事業(新たな福祉の拠点づくり編)	37	完了	・ボランティアや見守りサポーターの育成、確保 ・各種イベントや交流会の調整、開催	福祉課
若い世代の健康づくり促進事業	39	完了	・家庭における野菜摂取促進に向けた料理写真の募集と紹介 ・動画視聴や夏休みを利用した運動習慣の形成支援	健康介護課
人権・平和推進事業	41	完了	・教職員を対象とした人権教育研修会の実施 ・「～ヒロシマ・ナガサキ～原爆写真展」の開催	総務課 教育推進課
チームみやしろ会議	43	完了	・「この人の話が聞きたい」の定期的な開催 ・会議をきっかけとした新たな活動の実例調査と紹介	企画財政課
みんなで備える防災力強化促進事業	44	完了	・自主防災組織連絡協議会の開催 ・若い世代の防災意識向上へ向けたイベントの企画、準備	町民生活課
高齢者困りごとサポート隊事業	46	一部未完了	・助け合い活動グループによるさまざまな困りごとの解決 ・地域支え合い講座や落語講演会、交流会の開催	健康介護課
日工大サイエンスプロジェクト	48	完了	・これまでの実施結果を踏まえた小中学生の授業内容の検討 ・日本工業大学での教職員研修の実施	教育推進課
公共施設マネジメント計画2.0	49	完了	・個別施設計画の更新 ・国や県の財政支援の有効活用に向けた検討	企画財政課
宮代町立小中学校適正配置事業	50	完了	・基本設計事業者選定のためのプロポーザルの実施 ・地域拠点施設の関係者等で構成する外部組織の立ち上げ	教育推進課

完了=27事業(84.4%) 一部未完了=4事業(12.5%) 未完了=1事業(3.1%)

全32事業

※令和5年9月に実施工程の弾力的な見直しを行いました。見直しを実施した事業については、実施工程表の下段に概要を記載しています。  
※進捗状況について、今回対象となる令和6年度上期実施結果及び下期実施予定の背景を塗りつぶしています。

企画趣旨

山崎山で市民団体とともに培った、事業や活動のノウハウと経験を活かし、西原自然の森においても、自然の魅力や大切さを知る体験事業や保全事業を市民とともに実施します。これにより、町の自然を守り育て、その魅力を発信する人材を生み出します。

[移築民家活用編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業]

成果目標（令和7年度までに）

新規ボランティアスタッフの確保 10人以上

里山体験イベントの実施 年3回以上、参加者100人以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. コンセプトづくり	環境資源課 ボランティア等	→				
2. 協力者確保	環境資源課	→				
3. イベント実施	環境資源課 ボランティア等		→			
4. 環境整備・管理	環境資源課 ボランティア等		→			
5. 情報発信	環境資源課	→				

■工程の見直し（令和5年度）

組織改編により、事業の実施主体を町民生活課から環境資源課へ変更しました。

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)協力者確保 イベントを通じて協力者を募るほか、参加した協力者が、実際に森を守ったり、活用したりできるよう、働きかけていきます。	(1)協力者確保 関係他課等と検討を進め、「西原自然の森フェスタ&すてっぷまつり」（11月16日）を開催することとしました。また、社会福祉協議会を通じ、当日のイベント協力者を募集しました。
	(2)イベント実施 (3)情報発信 市民協力者や関係他課等との協働・連携により、西原自然の森の環境を活かした体験会等のイベント準備を行います。また、さらなる協力者や参加者の拡大につながるよう、情報発信を行います。	(2)イベント実施 (3)情報発信 上記イベントの開催に向けて、参加団体を対象とした顔合わせ会（10月3日）を実施することとしました。また、イベントへの参加を広く呼びかけるため、広報10月号・11月号及び町ホームページ等の記事を作成し、情報発信の準備を行いました。
	(4)環境整備・管理 西原自然の森の活用が円滑に継続できるよう、適切な環境整備・管理を行います。	(4)環境整備・管理 引き続き「竹の循環利用」を基本に、管理と活用の両立を目指して事業を進めることとしました。
	<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了	

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)協力者確保  (2)イベント実施  (3)情報発信  市民協力者や関係他課等との協働・連携により、「西原自然の森フェスタ&amp;すてっぷまつり」を開催し、竹を活用したイベントを行うとともに、西原自然の森の魅力発信を行います。</p>	
	<p>(4)環境整備・管理  西原自然の森の活用が円滑に継続できるよう、適切な環境整備・管理を行います。</p>	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

福祉拠点として再整備される旧ふれ愛センターとともに西原自然の森の魅力を高めるため、「旧加藤家」「旧齋藤家」「旧進修館」を古い建物の特性を生かした美術作品の展示や音楽活動などの文化活動や体験講座、地域活動ができる場所とします。

[里山体験事業編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業]

成果目標（令和7年度までに）

新たな仕組みに基づく新規事業 年3回以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. モデル事業の実施	教育推進課	→				
2. 仕組みづくりと運用準備	教育推進課		→			
3. 活用支援	教育推進課			→		

■工程の見直し（令和5年度）

新たな仕組みづくりを慎重に行うため、実施項目1「モデル事業の実施」と実施項目2「仕組みづくりと運用準備」の期間を1年間延長しました。

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1)仕組みづくりと運用準備 旧進修館の中にある文化財について、小型のものは別の収蔵場所への移動を進め、内部の見学を行えるように準備します。</p> <p>(2)活用支援 文化財を守りながら活用していくため、旧加藤家住宅において新規事業の実施希望が出された場合には、解決策や注意点などをまとめたマニュアルに基づき、希望者と実施に向けた確認や調整を行います。また、新たに確認された課題やアイデア等を踏まえてマニュアルの修正を行います。</p> <p>【新規事業の実施予定】 ・旧加藤家座敷を舞台・観客席に「ひとりがり」で島村苺三/作の『村の寶』を上演（6月頃）</p>	<p>(1)仕組みづくりと運用準備 「西原自然の森フェスタ&amp;すてっぷまつり」(11月16日)での旧進修館の限定公開に向けて、小型の民具は本館の一般収蔵庫等への移動を開始し、大型の民具は収蔵しながら展示公開できるよう準備を進めました。</p> <p>(2)活用支援 旧加藤家住宅の活用希望は出されていませんが、継続事業として「移築民家と『アタラシイ』ゲキ19」(9月16日・鑑賞者25名)を開催しました。板の間を能舞台に見立てて、和戸教会の歴史を取材した新作能「平文(ヘボン)」を上演しました。 また、「ひとりがり『村の寶』島村苺三/作」は、実施日などの再調整を行い、10月に上演するための準備を行いました。</p>
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input checked="" type="checkbox"/>一部未完了</p>

	実施予定	実施結果
下 期	<p><b>(1)仕組みづくりと運用準備</b>            旧進修館については、今後、定期的な公開日を決めて、内部の見学を行えるようにします。また、「西原自然の森フェスタ&amp;すてっぷまつり」の状況を踏まえて、必要に応じて運用方法の再整理を行います。</p> <p><b>(2)活用支援</b>            文化財を守りながら活用していくため、旧加藤家住宅において新規事業の実施希望が出された場合には、解決策や注意点などをまとめたマニュアルに基づき、希望者と実施に向けた確認や調整を行います。また、新たに確認された課題やアイデア等を踏まえてマニュアルの修正を行います。</p> <p>【新規事業の実施予定】            ・旧加藤家座敷を舞台・観客席に「ひとりごたり」で島村苳三/作の『村の寶』を上演（10月5日）</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

「新しい村」を整備してから約 20 年。直売施設の増加やインターネット販売の普及など取り巻く状況も大きく変わりました。着地型観光という視点も含めて、調査・分析を行い、「新しい村」の魅力を高める計画を策定し、「新しい村」をより魅力的な空間へと変えていきます。

成果目標（令和 7 年度までに）

新しい村魅力アッププランの策定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 新しい村の現状分析・課題整理	産業観光課 新しい村	→				
2. 持続可能な経営モデルの調査研究	産業観光課		→			
3. 新しい村周辺農地の地権者意向調査と必要な土地の取得	産業観光課		→			
4. 新しい村魅力アッププランの策定	産業観光課		→			
5. 新しい村魅力アッププランの実行（農業教育・研修機能の検討、直売所機能の強化、情報発信機能の強化）	産業観光課 新しい村			→		

■工程の見直し（令和 5 年度）

新しい村魅力アッププランの策定が完了したため、実行にあたり実施項目 3「新しい村周辺農地の地権者意向調査と必要な土地の取得」の期間を 2 年間延長するとともに、実施項目 5 に新たな取組を追加しました。

進捗状況（令和 6 年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)新しい村周辺農地の地権者意向調査と必要な土地の取得 今後の新しい村周辺農地の活用方法について検討していきます。	(1)新しい村周辺農地の地権者意向調査と必要な土地の取得 魅力アッププランに基づき、新たな機能を追加するために必要となる土地（整備・活用）の検討を行いました。
	(2)新しい村魅力アッププランの実行 「新しい村魅力アッププラン」に位置づけた魅力アップ方針や機能強化の考え方等に基づき、直売所やアグリ、観光などの機能を維持・強化するため、環境への配慮や長寿命化を踏まえた既存施設の改修に向けた概略設計を行います。	(2)新しい村魅力アッププランの実行 改修方針の検討に際し、案内看板及び既存施設の現況確認を行うとともに、新しい村関係者にヒアリング調査を行い、改修・増築に向けた課題の整理を行いました。 また、町外に向けて情報発信の強化を図るため、新しい村ホームページや SNS での PR のほか、町発行の観光情報紙「宮代い～ね！」で新しい村を特集しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)新しい村周辺農地の地権者意向調査と必要な土地の取得  魅力アッププランに基づき、新たな機能を追加するために必要となる土地（整備・活用）の検討を行います。</p>	
	<p>(2)新しい村魅力アッププランの実行  「新しい村魅力アッププラン」に位置づけた魅力アップ方針や機能強化の考え方等に基づき、既存施設の改修・増築に向けた概略設計を行います。</p>	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくために、農業生産の効率化・省力化を図るとともに、農地集積化を推進し、農作業環境の向上を図ります。

成果目標（令和7年度までに）

宮東・中島地区における20ha以上の農地集積化と基盤整備(100%)

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 現地調査	埼玉県 産業観光課 地権者	→				
2. 事業計画策定及び地権者同意	埼玉県 産業観光課 地権者		→			
3. 用地測量及び実施設計	埼玉県 産業観光課				→	
4. 整地工事	埼玉県 産業観光課					→

■工程の見直し（令和5年度）

地権者の理解促進や合意形成に時間を要したため、工程の全体的な繰り下げを行いました。

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p><b>用地測量及び実施設計</b> 圃場整備工事に向けて、埼玉県が主体となり、整備区域内の用地測量を行います。用地測量では、各地権者の立会いのもと、境界等を確定します。</p> <p>また、宮東・中島土地改良組合の設立に伴い、土地改良組合役員会議を開催し、圃場整備に向けた話し合いを行います。</p>	<p><b>用地測量及び実施設計</b> 埼玉県と調整のうえ、用地測量及び実施設計の発注を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計業務 1社</li> <li>・基準点測量業務 1社</li> <li>・用地測量業務 13社</li> </ul> <p>■組合役員会の運営 組合役員会（2回）を開催し、農地の貸し付け条件等を検討しました。</p>
	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未完了	
下期	<p><b>用地測量及び実施設計</b> 用地測量を実施し、各地権者立会いのもと、境界を確定し、用地取得面積を確定します。また、用地測量に基づき実施設計を完成させます。</p> <p>■組合役員会の運営 引き続き役員会を開催し、農地の貸し付け条件等を検討します。</p>	
	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了	

企画趣旨

就農希望者のための実践的な研修環境を整え、将来の宮代農業を支える骨太な若手農業者を育成します。

成果目標（令和7年度までに）

新規就農者の確保 5人以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 事業計画の策定	産業観光課	→				
2. 就農希望者の受入	産業観光課	→				
3. 農業用栽培施設レンタル制度の創設	産業観光課 新しい村		→			
4. みやしろ型市民農業大学の実施	産業観光課			→		

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p><b>(1)就農希望者の受入</b> 農業担い手塾で新たな就農希望者を受け入れるため、引き続き、ホームページに募集要項を掲載して周知を行うとともに、就農相談会等へ参加します。 また、入塾申請のあった方に対する入塾審査を実施し、入塾許可となった場合には、実践研修の準備を進めます。</p> <p><b>(2)みやしろ型市民農業大学の実施</b> 農作業や栽培経験の少ない入塾希望者から申請があった場合には、「宮代町農業担い手塾入塾前研修制度」に基づき農家実習形式による受入れを行います。</p>	<p><b>(1)就農希望者の受入</b> 農業担い手塾の塾生募集を通年で実施するとともに、埼玉県主催の農業大学校就農相談会（6月）に参加しました。</p> <p><b>(2)みやしろ型市民農業大学の実施</b> 就農希望者からの入塾相談時や上記就農相談会の際には、農作業や栽培経験の少ない相談者に対して、「宮代町農業担い手塾入塾前研修制度」を広く周知しました。</p>
		<p><input checked="" type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

	実施予定	実施結果
下 期	<p><b>(1)就農希望者の受入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業担い手塾で新たな就農希望者を受け入れるため、引き続き、ホームページに募集要項を掲載して周知を行います。また、入塾申請のあった方に対する入塾審査を実施し、入塾許可となった場合には、実践研修の準備を進めます。</li> <li>・3年間の研修期間満了を迎える9期生に対して卒塾審査を実施し、研修修了が認定された場合には、農業委員会で新規就農認定に向けた手続きを行います。</li> </ul>	
	<p><b>(2)みやしろ型市民農業大学の実施</b></p> <p>農作業や栽培経験の少ない入塾希望者から申請があった場合には、「宮代町農業担い手塾入塾前研修制度」に基づき農家実習形式による受入れを行います。</p>	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

駅から東武動物公園、新しい村までを、町民・観光客・事業者と共にアイデアを出し合いながら、歩いて楽しく、わくわくするような道に整備し、西口エリアの価値を高めます。あわせて、駅西口区画整理エリアの土地活用を促進します。

成果目標（令和7年度までに）

東武動物公園駅西口わくわくロードの完成（100%）

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）					
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
1. 市民参加によるコンセプトの決定	まちづくり建設課	→					
2. 概略設計・整備エリア決定	まちづくり建設課		→				
3. 関係機関協議	まちづくり建設課		→				
4. 実施設計	まちづくり建設課			→			
5. わくわくロード整備工事	まちづくり建設課				→		

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)概略設計・整備エリア決定 市民参加により整備エリアの検討を行い、概略設計を進めます。	(1) 概略設計・整備エリア決定 (2)関係機関協議 (3)実施設計 (4)わくわくロード整備工事 市民から募集したまちづくりアイデアの結果を踏まえ、整備エリア及び整備方針の検討を行い概略設計に向けた準備を行いました。（関係機関協議、実施設計及びわくわくロード整備工事は、概略設計完了後、必要に応じて実施）
	(2)関係機関協議 必要に応じて、関係機関協議を進めます。	
下期	(3)実施設計 概略設計を基に、実施設計の準備を進めます。	□完了 <input checked="" type="checkbox"/> 未完了 □一部未完了
	(4)わくわくロード整備工事 設計に基づき整備工事を実施します。	
下期	(1) 概略設計・整備エリア決定 整備エリア及び整備内容の絞り込みを行います。また、規模に応じて概略設計を行います。	□完了 □未完了 □一部未完了
	(2) 関係機関協議 (3) 実施設計 整備内容を決定し、必要に応じて関係機関との協議を実施します。また、必要な数量算出や図面等を作成し、工事に必要な実施設計を行います。	
	(4) わくわくロード整備工事 実施設計完了後、整備工事を発注します。	

企画趣旨

既存施設や飲食店など、気軽に美術作品の展示や小さな演奏会ができるスペースを募集し、まちなかにおける作品展や音楽会の開催を促します。このことで地域の人材を発掘し、地域に人々の集まる新しい場所を生み出します。

成果目標（令和7年度までに）

飲食店等やアーティストが主体となった「みやしろ芸術祭」の開催 年1回以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 飲食店などで行う作品展や演奏会の実施方法の検討	教育推進課	→				
2. アーティストと飲食店等のアート活動サポート	教育推進課		→	→	→	→
3. みやしろ芸術祭の開催	教育推進課 参加者			→	→	→
4. みやしろ芸術祭の実施方法の検証と見直し	教育推進課			→	→	→

■工程の見直し（令和5年度）

イベントの名称が決定したため、「(仮称) アートウィーク」を「みやしろ芸術祭」に変更しました。  
また、アーティストや飲食店等の主体的な活動を継続的に支援し、地域の人材発掘や賑わい創出につなげるため、実施項目2を「アーティストと飲食店等のマッチング」から「アーティストと飲食店等のアート活動サポート」へ変更しました。

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)アーティストと飲食店等のアート活動サポート 引き続きアート活動をサポートする情報を更新しながら、町ホームページやSNSを通して発信していきます。	(1)アーティストと飲食店等のアート活動サポート みやしろ・アート・インフォメーションにて町内外の作品展や演奏会などのアート情報（23件）を発信しました。
	(2)みやしろ芸術祭の開催 (3)みやしろ芸術祭の実施方法の検証と見直し 「みやしろ芸術祭」の開催に向けて、令和5年度の開催結果を踏まえ、準備期間や開催日程、企画の見直しを行います。	(2)みやしろ芸術祭の開催 (3)みやしろ芸術祭の実施方法の検証と見直し 「みやしろ芸術祭」の開催に向けて、参加者等の募集を行い、発表会のリハーサルや開催情報の発信などの準備を進めました。 また、今年度から主催者が主体的・自主的に行う発表会などに対して会場費等を補助するパートナーシップ事業補助金を創設しました。9月末時点で10件の活用があり、会場や日程の選択で自由度が高く、主体的な運営ができる支援体制への一定のニーズを確認できました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)アーティストと飲食店等のアート活動サポート 引き続きアート活動をサポートする情報を更新しながら、町ホームページや SNS を通して発信していきます。</p> <p>(2)みやしろ芸術祭の開催 「みやしろ芸術祭」を11月2日から開催します。</p> <p>(3)みやしろ芸術祭の実施方法の検証と見直し 「みやしろ芸術祭」の開催を振り返り、実施方法の検証と来年度に向けた方向性を検討します。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

町の魅力の情報発信力向上を図るため、地元の魅力を再発見し、掘り下げ、自らの言葉で発信する人材を生み出します。

成果目標（令和7年度までに）

地域特派員 10人

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1.「みんなが地域の特派員」制度の創設	総務課	→				
2.みやしろ再発見ワークショップの開催	総務課	→				
3.「みんなが地域の特派員」制度の周知と制度参加者の拡大	総務課	→				

■工程の見直し（令和5年度）

制度の名称が決定したため、（仮称）を削除しました。

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1)みやしろ再発見ワークショップの開催 宮代町の魅力を発信する公式ハッシュタグ『#みやしろまち』や『みやしろーかる』を広めるため、町や民間団体等で開催するイベントでワークショップ等を実施します。</p>	<p>(1)みやしろ再発見ワークショップの開催 民間団体主催の月イチまんまるに出展（4月～9月）し、ズームアッププロジェクトのPRを実施しました。 また、多くの人に楽しく町の魅力を再発見してもらえるよう、町の資源や事業などをイラスト化した「みやしろ缶バッジ」を作成。月イチまんまるの会場や無印良品店内にカプセルトイの機器を設置するとともに、第4弾となるデザインを追加したことにより、1,257個を有償頒布しました。</p>
	<p>(2)「みんなが地域の特派員」制度の周知と制度参加者の拡大 特派員と毎月の情報交換会で意見交換しながら、みんなが地域の特派員制度を進めていきます。引き続き、広報やSNSでの情報発信に努めます。</p>	<p>(2)「みんなが地域の特派員」制度の周知と制度参加者の拡大 特派員が作成した記事13件を広報みやしろに掲載し、動画25件をYoutubeにて公開しました。 また、特派員のスキルアップのための情報交換会（毎月1回）を行いました。</p>
		<p><input checked="" type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)みやしろ再発見ワークショップの開催 宮代町の魅力を発信する公式ハッシュタグ『#みやしろまち』や『みやしろーかる』を広めるため、町や民間団体等で開催するイベントでワークショップ等を実施します。</p> <p>(2)「みんなが地域の特派員」制度の周知と制度参加者の拡大 特派員と毎月の情報交換会で意見交換しながら、みんなが地域の特派員制度を進めていきます。 また、特派員自身による撮影技術等の発表会や技術向上のための研修会を開催し、制度の充実を図ります。 引き続き、広報やSNSでの情報発信に努めます。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

官・民を問わず、それぞれが所有する土地や施設などの遊休資源と人・団体等を結びつけ、町の様々な場所での活動の拠点づくりを行います。提案に対する場所の募集と場所に対する提案の募集の2つを柱として行います。

成果目標（令和7年度までに）

活用実績 10件

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 普通財産カルテの作成	企画財政課	→				
2. 庁舎の遊休スペース活用計画の作成	企画財政課		→			
3. 活用事業の実施	企画財政課		→			
4. 民間施設の活用事例の収集・公表	企画財政課	→				

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1)活用事業の実施 令和5年度に引き続き、各課と連携して庁舎内スペースの活用事業を行います。 また、宮代町公有財産利活用方針に基づき、活用・売却が検討できる公有財産（土地）の調査を進めます。</p> <p>(2)民間施設の活用事例の収集・公表 実行計画事業等における民間施設との連携や遊休スペースの活用事例を収集します。</p>	<p>(1)活用事業の実施 庁舎内スペースの活用希望を定期的に取りまとめ公開し、活用期間の調整及び庁内の情報共有を行いました。また、新規活用事業として、既設の庁舎有料広告スペースを庁舎入口に移設し、新たな広告掲載につなげました。 活用・売却検討財産については、保有する普通財産が所有権移転可能な資産かどうかを調査しました。</p> <p>(2)民間施設の活用事例の収集・公表 実行計画事業関係課や包括連携協定締結企業等との打ち合わせにおいて、民間施設との連携や遊休スペースの活用事例の情報を収集しました。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>
	<p>(1)活用事業の実施 引き続き、各課と連携して庁舎内スペースの活用事業を行います。 また、宮代町公有財産利活用方針に基づき、活用・売却検討のための関係課との調整を進めます。</p> <p>(2)民間施設の活用事例の収集・公表 引き続き、実行計画事業等における民間施設との連携や遊休スペースの活用事例を収集し、町ホームページにて公表している民間事業者等との連携状況を更新します。</p>	<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

企画趣旨

備前堀川等において、自治会や地域の関係団体などと共にアイデアを出し合い、地域に親しまれ愛される遊歩道や水辺を整備します。

成果目標（令和7年度までに）

公園・遊歩道の整備 満足度 50% ※住民意識調査 令和元年度 43.6%

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 市民参加による岸辺遊歩道等の整備方針の検討	まちづくり建設課	→				
2. 備前堀川等の遊歩道整備	まちづくり建設課	→				
3. 既存遊歩道の整備	まちづくり建設課	→				
4. 古利根川の活用促進に合わせた良好な水辺空間の創出の検討	まちづくり建設課 産業観光課	→				

■工程の見直し（令和5年度）

県事業（和戸踏切立体交差事業及び人道橋整備）と足並みをそろえることが合理的なため、実施項目1「市民参加による岸辺遊歩道等の整備方針の検討」期間を1年間延長しました。

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)備前堀川等の歩道整備 (2)既存遊歩道の整備 備前堀川人道橋整備に支障とならない踏切より下流のフェンスについて、地元の代表者と意見交換を行いながら修繕を行います。 また、備前堀川等の遊歩道、健康マッ歩などの既存遊歩道の道路パトロールを実施し、危険箇所や老朽化箇所の修繕を行います。	(1)備前堀川等の歩道整備 今後の歩道整備の内容について、素案を作成しました。 (2)既存遊歩道の整備 踏切より下流のフェンスについて、工事請負業者と契約し、工事の準備に着手しました。 また、備前堀川等の遊歩道、健康マッ歩などの既存遊歩道の道路パトロールを実施しました。
	(3)古利根川の活用促進に合わせた良好な水辺空間の創出の検討 古利根川の活用促進や良好な水辺空間の創出についての情報収集を行います。	(3)古利根川の活用促進に合わせた良好な水辺空間の創出の検討 他自治体の事例研究を行いました。
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未完了

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)備前堀川等の歩道整備</p> <p>(2)既存遊歩道の整備</p> <p>備前堀川人道橋整備に支障とならない踏切より下流の既存遊歩道について、地元の代表者と意見交換を行い、次年度以降の予定を調整します。また、その結果を踏まえて予算要求し、実施に向け調整します。</p> <p>備前堀川等の遊歩道、健康マッ歩などの既存遊歩道の道路パトロールを実施し、危険箇所や老朽化箇所の修繕等維持管理を行います。</p> <p>(3)古利根川の活用促進に合わせた良好な水辺空間の創出の検討</p> <p>古利根川の活用促進や良好な水辺空間の創出についての情報収集を行います。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

## 地域のオリジナルパークをつくろう！

まちづくり建設課

### 企画趣旨

身近な街区公園等を一律に“児童公園”として位置付けるのではなく、人々のライフスタイルに合わせて、それぞれが特色のある“場”となるように再整備し、地域の人が集まる憩いの場（青空カフェ、移動販売、健康づくりパークなど）を地域の皆さんとともに作りあげます。

### 成果目標（令和7年度までに）

公園の整備 2か所

### 実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. モデル公園検討	まちづくり建設課	→				
2. 公園整備計画検討・策定	まちづくり建設課		→			
3. 公園整備	まちづくり建設課			→		
4. 事業実施	まちづくり建設課				→	
5. 評価検証	まちづくり建設課					→

### 進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)公園整備 (2)事業実施 モデル公園ごとに、ワークショップ等で検討した内容を踏まえ、公園の整備を行います。 ■学園台けやしき公園 ・四阿等設置 ■宮代台中央公園 ・遊具等更新及び新規設置	(1)公園整備 (2)事業実施 モデル公園ごとに、ワークショップ等で検討した内容を踏まえ、公園整備に伴う準備を進めました。 ■学園台けやしき公園 四阿の内容等について日本工業大学や地域住民と検討するとともに、建築工事に伴う法申請を行いました。 ■宮代台中央公園 改修工事について発注し、工事に向け準備を進めました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了
下期	(1)公園整備 (2)事業実施 モデル公園ごとに、ワークショップ等で検討した内容を踏まえ、公園の整備を行います。 ■学園台けやしき公園 ・四阿等設置工事、版築ベンチ製作 ■宮代台中央公園 ・遊具等更新及び新規設置	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

循環バスのルートでないエリアや身体的な理由で循環バスが利用できない方の交通需要に対応するため、宮代町の地勢や特性に合ったデマンド交通を導入します。

成果目標（令和7年度までに）

高齢者が外出を控えている理由「交通手段がない」10%以下  
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 令和元年度 15.8%

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. タクシー助成制度の実証実験の実施	企画財政課	→				
2. 実証実験を踏まえた効果と課題の検証	企画財政課		→			
3. 循環バスの次期契約に向けた運行内容の見直し	企画財政課		→			
4. タクシー助成制度の本格実施、次期循環バスの運行	企画財政課 健康介護課			→		

■工程の見直し（令和5年度）

令和5年度からタクシー助成事業が企画財政課から健康介護課に移管されたため、実施項目4の実施主体を追加しました。

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>タクシー助成制度の本格実施、次期循環バスの運行</p> <p>令和5年度に引き続き、「高齢者等タクシー助成事業」を実施します（助成券額面300円、一乗車につき助成券2枚まで利用可、発行枚数月4枚で最大発行枚数48枚）。</p> <p>また、循環バスについては、運行の継続に向けて、公共交通会議の実施と事業者の選定準備を行います。</p>	<p>(1)タクシー助成制度の本格実施</p> <p>新たに295人に助成券を発行し、令和3年度からの発行者数の累計は2,974人となりました。(令和6年度上期における助成券の使用枚数の合計は18,771枚)</p> <p>(2)次期循環バスの運行</p> <p>令和7年度からの新規契約に向け、地域公共交通会議(7月29日)を開催。既存のルートを継続して運行すること、利用料金は現在と同額とすることなど、新規契約の方向性を決定しました。</p> <p>また、事業者選定にあたっては、地域交通会議の決定事項を基に、プロポーザル審査(9月24日)を実施しました。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了	

	実施予定	実施結果
下期	<p>タクシー助成制度の本格実施、次期循環バスの運行</p> <p>引き続き、「高齢者等タクシー助成事業」を実施し、登録者に助成券を配布します。また、助成内容等の再検討を行うとともに、年度末には全登録者に対して、令和 7 年度用の助成券を配布します。</p> <p>循環バスについては、令和 7 年度からの運行に向けて、公共交通会議の実施、事業者との契約、時刻表の作成など、運行の開始準備を行います。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

広域道路ネットワークの整備（都市計画道路整備）

まちづくり建設課

企画趣旨

利便性の高い近隣市町への広域道路ネットワーク構築のため、都市計画マスタープランに基づく都市計画事業整備計画において優先順位を定め、計画的な整備を進めます。

成果目標（令和7年度までに）

- （都）春日部久喜線（町道第12号線）の整備完了
- （都）春日部久喜線（町道第252号線）の都市計画決定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1.（都）春日部久喜線（町道第12号線）の整備	まちづくり建設課	用地買収			整備工事	
2.（都）春日部久喜線（町道第252号線）の延伸	まちづくり建設課					
3.（都）万願寺橋通り線（町道第75号線）の整備（設計）	まちづくり建設課					
4.（都）新橋通り線（町道第148号線）の整備	まちづくり建設課					

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)(都)春日部久喜線(町道第12号線)の整備 地権者との交渉を進めます。また、買収済みの箇所について整備を進めます。	(1)(都)春日部久喜線(町道第12号線)の整備 地権者との交渉を実施し、買収済みの箇所について整備実施の調整をしました。
	(2)(都)春日部久喜線(町道第252号線)の延伸 新橋梁建設に向け、春日部市との調整を行うとともに、用地交渉を進めます。	(2)(都)春日部久喜線(町道第252号線)の延伸 新橋梁建設に向け、春日部市との調整を実施し、用地交渉に必要な資料を作成しました。
	(3)(都)万願寺橋通り線(町道第75号線)の整備 須賀上交差点の改良を行うための調査を行います。	(3)(都)万願寺橋通り線(町道第75号線)の整備 須賀上交差点の改良を行うための調査を実施しました。
	(4)(都)新橋通り線(町道第148号線)の整備 早期完成に向けて、埼玉県と連携して事業を推進していきます。	(4)(都)新橋通り線(町道第148号線)の整備 進捗状況を確認するとともに、早期完成に向けて、埼玉県と連携して事業を推進しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)(都)春日部久喜線(町道第 12 号線)の整備 用地交渉の進捗を踏まえ、工事発注の準備を行います。</p> <p>(2)(都)春日部久喜線(町道第 252 号線)の延伸 新橋梁建設に向け、春日部市との調整を行うとともに、用地地権者と用地交渉を実施します。</p> <p>(3)(都)万願寺橋通り線(町道第 75 号線)の整備 須賀上交差点の改良方針を検討し、必要に応じて調査委託を実施します。</p> <p>(4)(都)新橋通り線(町道第 148 号線)の整備 進捗状況を確認するとともに、早期完成に向けて、埼玉県と連携して事業を推進していきます。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

駅東口の地域の魅力とアクセス性を向上させるため、駅前広場や都市計画道路を一体的に整備し、他自治体と広域的につながるターミナルとしての機能を高めます。

成果目標（令和7年度までに）

東武動物公園駅東口駅前広場の完成（100%）

東武動物公園駅東口通り線の完成（100%）

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 物件調査（単価入替等）・鑑定評価	まちづくり建設課	→				
2. 用地交渉、用地・物件補償	まちづくり建設課	→				
3. 関係機関協議、実施設計、整備工事	まちづくり建設課		→			

■工程の見直し（令和5年度）

用地交渉の進捗により、工程の全体的な延長を行いました。

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)物件調査（単価入替等）・鑑定評価 年度中に契約の内諾を頂いた権利者について物件調査（単価入替等）の委託等を発注します。	(1)物件調査（単価入替等）・鑑定評価 地権者と交渉を行い、物件調査（単価入替等）委託を発注しました。また、用地費の鑑定評価を行い用地単価の算出を行いました。
	(2)用地交渉、用地・物件補償 用地・物件補償額の概算額を提示し、契約に向けて交渉を進めます。	(2)用地交渉、用地・物件補償 用地・物件調査等の日程調整を行い、6件の立会調査を行いました。また、今後の契約に向け、工程や補償内容について説明を行いました。
	(3)関係機関協議、実施設計、整備工事 電線共同溝及び駅前広場の詳細設計の完了を目指します。また、取得用地の適正管理に努めます。	(3)関係機関協議、実施設計、整備工事 電線共同溝及び駅前広場の詳細設計を発注しました。また、除草など取得用地の適正管理に努めました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了
下期	(1)物件調査（単価入替等）・鑑定評価 物件調査（単価入替等）の委託を完了させます。	
	(2)用地交渉、用地・物件補償 用地・物件補償額の概算額を提示し、契約に向けて交渉を進めます。	
	(3)関係機関協議、実施設計、整備工事 電線共同溝及び駅前広場の詳細設計の完了を目指します。また、取得用地の適正管理に努めます。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

都市計画道路国納橋通り線や都市計画道路万願寺橋通り線の整備に合わせて、産業系土地利用を検討し、民間企業の立地誘導による地域の活性化を促進します。

成果目標（令和7年度までに）

- 土地利用・事業手法の決定
- 事業区域の決定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 関係機関との調整	まちづくり建設課	→				
2. 土地・権利者調査	まちづくり建設課	→				
3. 事業化検討調査	まちづくり建設課		→			
4. 地元調整・企業意向確認	まちづくり建設課		→			

■工程の見直し（令和5年度）

継続的に事業エリアと手法等を検討するため、実施項目3「事業化検討調査」の期間を令和7年度まで延長することとしました。（期間の延長に伴い工程見直し前の実施項目「事業推進調査」を統合）

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)関係機関との調整 産業系の土地利用を目指して、引き続き関係機関との協議を進めます。	(1)関係機関との調整 産業系の土地利用を目指して、引き続き関係機関（県及び関係課）との協議を進めました。
	(2)事業化検討調査 産業系の土地利用転換の可能性について、引き続き調査・検討していきます。	(2)事業化検討調査 産業系の土地利用を目指して、5社と企業ヒアリングを行いました。
下期	(3)地元調整・企業意向確認 地元住民等の意見交換会等を通じて、引き続き実現方策を検討していきます。	(3)地元調整・企業意向確認 地元住民等との意見交換会や地権者との勉強会を通じて、実現方策の検討を進めました。 また、須賀高野島地区では、出店検討の意向を示した企業主催による関係地権者説明会を実施しました。
	(1)関係機関との調整 産業系の土地利用を目指して、引き続き関係機関との協議を進めます。	☑完了 ☐未完了 ☐一部未完了
	(2)事業化検討調査 産業系の土地利用転換の可能性について、引き続き調査・検討していきます。	☐完了 ☐未完了 ☐一部未完了
	(3)地元調整・企業意向確認 地元住民等の意見交換会等を通じて、引き続き実現方策を検討していきます。	☐完了 ☐未完了 ☐一部未完了

企画趣旨

北春日部方面への都市計画道路の整備に合わせて、産業系土地利用を検討し、民間企業の立地誘導による地域の活性化を促進します。

成果目標（令和7年度までに）

（都）春日部久喜線（町道第252号線）の都市計画決定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 関係機関協議、説明会開催	まちづくり建設課	→				
2. 都市計画決定手続き	まちづくり建設課	→				
3. 産業系土地利用及び立地誘導等の検討	まちづくり建設課			→		

■工程の見直し（令和5年度）

都市計画決定が完了し、工程見直し前の実施項目「用地・補償交渉」と「都市計画道路整備」については、前期実行計画「広域道路ネットワークの整備」において実施することとしました。

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	産業系土地利用及び立地誘導等の検討 産業系土地利用及び立地誘導等の検討を引き続き行います。	産業系土地利用及び立地誘導等の検討 産業系土地利用及び立地誘導等の検討において出店検討の意向を示した企業主催による関係地権者説明会を実施しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了
下期	産業系土地利用及び立地誘導等の検討 産業系土地利用及び立地誘導等の検討を引き続き行います。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

地域コミュニティや地区・自治会のサポートをする地区担当者を配置します。また、その拠点として、既存の施設を（仮称）地区コミュニティセンターとして活用し、新たなつながりが生まれる場、地域における自治会活動や市民活動をサポートする場とします。

成果目標（令和7年度までに）

地区コミュニティセンターの開設 2か所

※開設にあたっては、前期実行計画「宮代町立小中学校適正配置事業（須賀小学校地域拠点施設整備）」の進捗に合わせて検討・準備を行うこととします。（令和5年度の工程見直しに伴い変更）

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 具体的な実施計画の作成	町民生活課 関係課	→				
2. モデル地区の選定と開設スケジュール等の作成	町民生活課		→			
3. 町内全地区の区長訪問を通じた地域支援	町民生活課			→	→	→
4. 地区コミセンの開設に向けた検討	町民生活課				→	→

■工程の見直し（令和5年度）

前期実行計画「宮代町立小中学校適正配置事業（須賀小学校地域拠点施設整備）」の進捗に合わせて地区コミセンを開設することが効果的であるため、連携を図りながら開設に向けた検討・準備を行うこととしました。また、地域における自治会活動や市民活動を支援するとともに、地域の現状や課題等を整理するため、役場庁舎を拠点として町内全地区・自治会を訪問し、意見交換や事業参加等を行うこととしました。

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)町内全地区の区長訪問を通じた地域支援 引き続き訪問事業を行い、地区・自治会の活動支援を継続していきます。	(1)町内全地区の区長訪問を通じた地域支援 全地区長・自治会長を対象に訪問事業（4月14日～28日）を実施し、現状や課題等の確認と活動支援を行いました。 また、地区・自治会事業（地域の祭り6か所）に参加し、地域の方と情報交換を行うとともに、その活動を町ホームページに掲載し、活動事例として発信しました。
	(2)地区コミセンの開設に向けた検討 須賀小学校地域拠点施設整備の基本設計に合わせて、地域拠点施設における地区コミュニティセンター機能などの調整を関係部署等と行います。	(2)地区コミセンの開設に向けた検討 須賀小学校地域拠点施設整備の基本設計に向けて、教育推進課や子育て支援課、設計事業者等と地区コミュニティセンター機能などの検討を行いました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

	実施予定	実施結果
下期	(1)町内全地区の区長訪問を通じた地域支援 引き続き訪問事業を行い、地区・自治会の活動支援を継続していきます。	
	(2)地区コミセンの開設に向けた検討 須賀小学校地域拠点施設整備の基本設計に向けて、関係部署や地域住民等と地区コミュニティセンター機能などの検討を行います。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業

産業観光課

企画趣旨

宮代町での起業を促進するため、空き店舗や公共施設の空きスペース等をチャレンジショップとして、起業志望者に提供する仕組みづくりを行います。また、複数店が連続して空き店舗となったエリアについては、貸主などと連携して、特色のあるエリアの形成を促します。

成果目標（令和7年度までに）

町の支援策を利用した起業者 15人以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 起業創業支援講座の開催	産業観光課	月3万円ビジネス講座・創業セミナー				
		シニア創業セミナー				
2. チャレンジショップの開店準備	産業観光課	→				
3. チャレンジショップの運営	民間 産業観光課 商工会		→			
4. 起業創業準備支援	産業観光課	→				
5. 事業者の話を聞く会の開催	産業観光課		→			

■工程の見直し（令和5年度）

さらなる商業振興や人材発掘に多角的に取り組むため、実施項目1「起業創業支援講座の開催」において、月3万円ビジネス講座の実施期間の延長とシニア創業セミナーの追加を行いました。また、地域における未来の起業家を育成するため、実施項目5に「事業者の話を聞く会の開催」を追加しました。

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1) 起業創業支援講座の開催 前年度の参加者アンケート結果を踏まえた企画内容の見直しを行い、より効果的な講座として企画、開催します。	(1) 起業創業支援講座の開催 月3万円ビジネス講座、シニア創業セミナーの両講座について、事業者選定、下期実施に向けた打ち合わせを実施しました。
	(2) チャレンジショップの運営 民間が運営するシェアキッチンなどで実戦経験を積んだ事業者や、起業セミナー等の受講者に対して、引き続き起業に向けた情報提供を行います。	(2) チャレンジショップの運営 (3) 起業創業準備支援 シニア起業セミナー受講者が民間のシェアキッチンで実戦経験を積み、起業しました。起業にあたっては、補助金制度の情報提供を行い、活用していただきました。
	(3) 起業創業準備支援 宮代町創業促進事業補助金制度、宮代町商工業活性化事業補助金制度（空き店舗活用事業）、宮代町マルシェ開催事業補助金制度による支援を実施します。	
	(4) 事業者の話を聞く会の開催 将来の起業家の芽を育てるため、町内中学校での「町内の事業者の話を聞く会」の開催に向けて準備を行います。	(4) 事業者の話を聞く会の開催 町内中学校及び講師との日程調整を実施しました。（須賀中10月29日、百間中11月29日）
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

	実施予定	実施結果
下期	<p><b>(1)起業創業支援講座の開催</b> 月 3 万円ビジネス講座及びシニア起業セミナーを開催し、今後の起業創業に結びつけます。また、講座実施後には参加者に対するアンケート調査を実施し、フィードバックを基に企画内容の見直しを検討します。</p> <p><b>(2)チャレンジショップの運営</b> 民間が運営するシェアキッチンなどの施設をチャレンジショップとして位置づけ、3 ビズ講座や創業セミナー、シニア起業セミナーの参加者などへ情報提供を引き続き実施します。また、町の補助金と商工会による専門相談を組み合わせた創業促進事業補助金制度による起業支援や「メイドインみやしろ制度」と「ふるさと納税制度」による販路拡大支援を行います。</p> <p><b>(3)起業創業準備支援</b> 宮代町創業促進事業補助金制度、宮代町商工業活性化事業補助金制度（空き店舗活用事業）、宮代町マルシェ開催事業補助金制度による支援を実施します。また、利用者が増加するよう補助制度の見直しを行います。</p> <p><b>(4)事業者の話を聞く会の開催</b> 将来の起業家の芽を育てるため、「町内の事業者の話を聞く会」を中学校で開催します。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

子育て中の方が孤立しないように、身近な飲食店や集会所等で地域の皆さんが実施する地域子育てサロンの開設・運営をサポートします。

成果目標（令和7年度までに）

地域主体の子育てサロンの運営 3か所以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 地域子育てサロンのモデル事業の実施	子育て支援課	→				
2. サロンの開設や運営のための支援策の検討	子育て支援課	→				
3. 地域主体の子育てサロンの運営開始	地域主体の子育てサロン			→		
4. 子育て情報サイトのリニューアル	子育て支援課			→		

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)地域主体の子育てサロンの運営開始 町ホームページや子育て情報サイトにて補助金制度の周知を行い、子育て応援隊登録者による自主的なサロン開催を促進します。	(1)地域主体の子育てサロンの運営開始 町ホームページや子育て情報サイトにて補助金制度を周知し、4団体に補助金を交付しました。また、子育て応援隊登録者によるサロンが開催されました。 ・4月～9月 子育てサークル「すくすく」(12回)のべ93組 ・4月 育休復帰前のママたちとおしゃべり会4組 ・7月、8月 本場ドイツのブレツツェルを親子で作ってみよう(4回) 20組 ・9月 ベビー&キッズあつまれ大運動会 32組 ・9月 フェルトでハートを編もう 5組
	(2)子育て情報サイトのリニューアル 利用者アンケートを引き続き実施するとともに、これまでの調査結果を踏まえ、子育て情報サイト「育てよっ」のリニューアルに向けた準備(方針の決定・掲載内容の調整等)を行います。	(2)子育て情報サイトのリニューアル 子育て情報サイト「育てよっ」のリニューアルに向け、利用者アンケート(回答数41件)を実施し、トップページデザインの修正やワードプレス化への校正作業を行いました。  <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了
下期	(1)地域主体の子育てサロンの運営開始 補助金制度の周知と自主的なサロン開催を促進します。令和7年度に向け、補助金制度の見直しの検討を行います。	
	(2)子育て情報サイトのリニューアル 子育て情報サイト「育てよっ」の利便性向上に取り組みます。	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の間を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。

成果目標（令和7年度までに）

- 子どもの居場所づくり活動 3か所以上
- 子どもの居場所づくり活動のネットワークの構築

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 子どもの居場所づくりについて調査研究	子育て支援課 教育推進課	→				
2. 子どもの居場所づくりイベントの開催	子育て支援課	→				
3. 子どもの居場所づくり活動の支援策の検討	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等	→	→			
4. 子どもの居場所づくり活動を広げるフォーラム、体験事業の実施	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等		→	→		
5. 地域主体の居場所づくり活動支援	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等			→	→	→
6. 居場所づくり活動のネットワークの構築	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等			→	→	→

■工程の見直し（令和5年度）

地域団体の自主的な取組を支援し地盤強化につなげるため、実施項目5に「地域主体の居場所づくり活動支援」を追加しました。また、団体同士のつながりを強化しネットワーク構築の準備・検討期間を十分に設けるため、実施項目6「居場所づくり活動のネットワークの構築」の期間を1年間延長しました。

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)地域主体の居場所づくり活動支援 社会福祉協議会と連携した支援を継続するとともに、新たな支援についても検討を行います。	(1)地域主体の居場所づくり活動支援 町ホームページにて補助金制度を周知し、3団体に補助金を交付するとともに、社会福祉協議会と連携し、大学生ボランティア（のべ32人）を派遣しました。 また、新たな支援策として、子育て情報サイト「育てよっ」にて活動状況を掲載するなどの検討を行いました。 ・4月～6月 辰新田「こども広場」 のべ72人 ・4月 もぐら体験 11人 ・7月 道佛集会所 OpenDay 22人 ・7月 ちびっこ鉄道クラブ宮代 59人 ・7月、8月 道佛集会所夏休み勉強会（10回）のべ211人 ・8月 ふらっと（5回） 22人 ・9月 辰新田「こども広場」日本工業大学との合同開催 40人

	実施予定	実施結果
上期	(2)居場所づくり活動のネットワークの構築 これまでの調査や活動団体からの聞き取りの結果を踏まえ、ネットワークのあり方について、引き続き検討を行います。	(2)居場所づくり活動のネットワークの構築 団体間のネットワークのあり方について検討するため、町内で活動する 18 団体へアンケートを実施しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了
下期	(1)地域主体の居場所づくり活動支援 補助金制度の周知や社会福祉協議会との連携により、地域主体の居場所づくり活動を支援します。	
	(2)居場所づくり活動のネットワークの構築 社会福祉協議会と共催して、各地区で活動している団体を招いて周知イベントを開催し、団体間の交流の場を創設します。	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の間を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。

成果目標（令和7年度までに）

常設の教育支援センター（適応指導教室）の設置

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 地域・学校の実態把握及び教育支援センター（適応指導教室）の在り方の検討	教育推進課	→				
2. 子育て支援課及び福祉課との連携体制の構築（調査研究・ネットワーク構築）	子育て支援課 教育推進課 福祉課	→				
3. 必要な施設改修・設備・備品等の整備及び人材の確保	教育推進課	→				
4. 包括的な支援体制の構築及び拡充の検討	教育推進課	→				
5. 教育支援センター（適応指導教室）設置条例の制定	教育推進課	→				
6. 教育支援センター（適応指導教室）の開設及び運用	教育推進課	→				

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)包括的な支援体制の構築及び拡充の検討 学校はもとより関係他課や諸機関との情報交換・共有を適宜行い、個々の児童生徒の状況に応じた支援ができるように引き続き取り組んでいきます。	(1)包括的な支援体制の構築及び拡充の検討 学校はもとより関係他課や諸機関との情報交換・共有を適宜行い、個々の児童生徒の状況に応じた支援をすることができました。また、教育相談では、相談者等に対し、専門相談支援員による、より専門的な支援を行うことができました。
	(2)教育支援センターの開設及び運用 これまでの運用実績を生かしながら、利用者の実態やニーズに合わせて支援を行い、引き続き安定的・継続的な運用ができるよう取り組んでいきます。	(2)教育支援センターの開設及び運用 これまでの運用実績を生かしながら、利用者の実態やニーズに合わせた支援を行い、安定的・継続的な運用ができました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了
下期	(1)包括的な支援体制の構築及び拡充の検討 学校はもとより関係他課や諸機関との情報交換・共有を適宜行い、個々の児童生徒の状況に応じた支援ができるように引き続き取り組んでいきます。	
	(2)教育支援センターの開設及び運用 昨年度や上期の運用実績を生かしながら、利用者の実態やニーズに合わせて支援を行い、引き続き安定的・継続的な運用ができるよう取り組んでいきます。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

地域づくりを担う人材やグループを生み出すため、様々な世代が定例的に集まり、地域の課題ややりたいことなどを語り合う場を設けます。様々な学び合いや実験的な取り組みを生み出し、参加者同士が触発される場とします。

成果目標（令和7年度までに）

新たなグループ 10 団体

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 実施方法の検討	町民生活課 指定管理者	→				
2. モデル事業の実施	町民生活課 指定管理者	→				
3. 運用の開始、随時見直しの実施	町民生活課 指定管理者		→			

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<b>運用の開始、随時見直しの実施</b> 令和5年度に引き続き、「スキップ広場に賑わいを！」と「進修館をアートで彩る」をテーマに、語り合いの場や実験的な取り組みが生まれる機会を継続的に設けていきます。 また、指定管理者とともに新たなテーマの検討を行います。	<b>運用の開始、随時見直しの実施</b> 「進修館をアートで彩る」をテーマに第2回（5月10日・参加者32名）、第3回（9月14日・参加者23名）お話し会を開催しました。 「スキップ広場に賑わいを」をテーマに第2回（6月14日・参加者8名）お話し会を開催しました。 「進修館2階ロビーの空間作り」をテーマに第1回（9月21日・参加者10名）お話し会を開催しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了
下期	<b>運用の開始、随時見直しの実施</b> 引き続き、「スキップ広場に賑わいを！」と「進修館をアートで彩る」、「進修館2階ロビーの空間作り」をテーマに、語り合いの場や実験的な取り組みが生まれる機会を継続的に設けていきます。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

定年を迎えた世代が今までつながりが希薄であった地域で生き生きと活躍するため、地域デビューのきっかけづくりとなるイベントやワークショップなどを開催します。

成果目標（令和7年度までに）

地域活動を始めた人 100人

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. シニアはじめて講座の開催	健康介護課 社会福祉協議会		→			
2. 縁じょい通信の発行	健康介護課 社会福祉協議会	→				
3. 縁じょい交流会の開催	健康介護課 社会福祉協議会	→				

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1)シニアはじめて講座の開催 シニアはじめて講座の開催に向けて準備を行います。</p> <p>(2)縁じょい通信の発行 地域における活動に関心を持っていただくため、身近な情報を掲載した「縁じょい通信」(6月予定)を発行します。</p> <p>(3)縁じょい交流会の開催 縁じょいメンバーの社会参加促進と社会福祉協議会の「笑顔のチケット事業」のPRを目的とした縁じょい交流会の開催に向けて、準備を行います。</p>	<p>(1)シニアはじめて講座の開催 担い手発掘や育成を目的とした生活支援体制整備協議体にて、認知症カフェボランティア講座(11月22日)の開催を決定し、協議体メンバーと講座内容の検討を進めました。</p> <p>(2)縁じょい通信の発行 6月に縁じょい通信第20号を発行し、地元の活動への参加促進の機運を高めました。</p> <p>(3)縁じょい交流会の開催 9月28日開催の落語講演会及び講演後の企画(笑顔のチケット・認知症の取組PR)には、240名以上の参加がありました。また、担い手発掘に向け、生活支援活動団体も交えた講演会後の交流会を企画し、40名ほどの参加がありました。その場で活動につながる方はいませんでした。活動者との顔つなぎの機会となりました。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了	

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)シニアはじめて講座の開催 シニアはじめて講座（認知症カフェボランティア講座・はじめてのプログラミング講座）の開催に向けて準備を行い、開催します。</p> <p>(2)縁じょい通信の発行 地域における活動に関心を持っていただくため、身近な情報を掲載した「縁じょい通信」（11月・2月）を発行します。</p> <p>(3)今後の縁じょい交流会の在り方検討 今まで実施した交流会を踏まえ、来年度以降の交流会の内容や進め方を検討します。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

再整備される旧ふれ愛センターを拠点に、社会福祉協議会と連携して、今日的な社会課題に対応したセミナーやイベントを開催し、ボランティアの裾野を広げます。ワークショップや交流会など、福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくりも支援します。

[里山体験事業編、移築民家活用編との連携事業]

成果目標（令和7年度までに）

- ボランティアの育成 50人以上
- 福祉推進員の確保 30人以上
- 福祉団体の連絡ネットワークの発足

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 社会課題に対応したセミナーやイベントを開催	福祉課 社会福祉協議会	—————▶				
2. 福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり	福祉課 社会福祉協議会	—————▶				

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上 期	<p>(1)社会課題に対応したセミナーやイベントの開催 生活困窮者やひとり親世帯、その他課題を抱える方など、社会的課題への対応として、ボランティア養成講座を開催します。また、小中学生と福祉施設やボランティアとの交流の場づくりを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア育成・確保</li> </ul> <p>【町】 社会福祉協議会と連携して養成講座等の調整を行います。また、見守りサポーターと民生委員児童委員との連絡調整を行います。</p> <p>【社会福祉協議会】 見守りサポーター、フードドライブボランティア等の養成講座を実施します。また、社会的課題に対応したセミナーやイベント等を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育の推進 町と社会福祉協議会で連携し、小中学生と福祉施設やボランティアとの交流会等の企画・検討を行います。</li> </ul>	<p>(1)社会課題に対応したセミナーやイベントの開催 社会福祉協議会が実施している以下の事業を連携・支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉推進員（見守りサポーター） 地域で誰もが安心した生活を送れるよう見守りサポーターの募集・確保を継続し、町や社会福祉協議会、民生委員へ一部相談（3件）をつないでもらいました。また、9月には「みまもり通信」を発行し、サポーターの見守り意識の向上に努めました。（サポーター登録数 個人140名、団体32・710名、事業所36店）</li> <li>・学生ボランティアとの連携 日本工業大学と連携し、学生の情報ボランティアによる「スマホ・PCなんでも相談会」（5月～7月・82名）を開催したほか、「地域支援大学生ボランティア事業」（登録者53名）を実施しました。</li> <li>・その他ボランティア講座の開催 福祉教育サポートボランティア講座（9月・5名）や学校ボランティア講座（6月・2名）、傾聴ボランティア講座（6月、7月・38名）を開催しました。</li> <li>・福祉教育の推進 昨年に引き続き、小中学生と福祉施設やボランティアとの交流は、西原自然の森フェスタ&amp;すてっぷまつりで包括して実施する方向で検討しました。</li> </ul>

	実施予定	実施結果
上 期	<p>(2)福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり</p> <p>町、社会福祉協議会、福祉団体等で連携し、「西原自然の森フェスタ 2024」の開催準備を行います。また、プラットフォームづくりに向けて、福祉団体同士の交流機会の検討・調整を行います。</p> <p>【社会福祉協議会】 宮代みんなのふくしカルタを活用し、福祉団体同士による「すてっぴ宮代活動チーム」の交流会等を検討、実施します。</p>	<p>(2)福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり</p> <p>福祉団体だけでなく、地域活動や文化団体、法人など様々な団体同士が連携することができるよう、各種イベントの開催や活動チームの交流会を開催しました。</p> <p>・西原自然の森フェスタ&amp;すてっぴまつり 町、社会福祉協議会、福祉団体等で連携し、イベントの開催に向けた調整を実施しました。今回もすてっぴ宮代活動チーム(登録数 89 団体)が出店を行うこととなりました。</p> <p>・ユニバーサルポッチャカルタ大会開催 宮代みんなのふくしカルタを活用したユニバーサルポッチャかるた大会(8月)を開催し、障害福祉サービス事業所や、さわやかクラブ連合会、ボランティア団体、スポーツ少年団など9チームが交流しました。</p>
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了
下 期	<p>(1)社会課題に対応したセミナーやイベントの開催</p> <p>生活困窮者やひとり親世帯、その他課題を抱える方など、社会的課題への対応として、ボランティア養成講座を開催します。</p> <p>【町】 社会福祉協議会と連携して養成講座等の調整を行います。また、見守りサポーターと民生委員児童委員との連絡調整を行います。</p> <p>【社会福祉協議会】 見守りサポーター、フードドライブボランティア等の養成講座を実施します。また、社会的課題に対応したセミナーやイベント等を実施します。</p> <p>(2)福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり</p> <p>町、社会福祉協議会、福祉団体等で連携し、「西原自然の森フェスタ&amp;すてっぴまつり」を開催します。また、プラットフォームづくりに向けて、福祉団体同士の交流機会の検討・調整を行います。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

## 若い世代の健康づくり促進事業

健康介護課

### 企画趣旨

生涯を通じて健康で活気ある日々を過ごすためには、若いうちから健康に対する意識をもつことが大切です。若い世代（20代～40代）の健康への関心を高めるため、オンラインによる教室や相談などライフスタイルに合わせたアプローチをします。

### 成果目標（令和7年度までに）

20代～40代で健康づくりに取り組んでいる人の割合 令和3年度アンケート調査から10%増

### 実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. オンライン相談事業の実施	健康介護課	—————▶				
2. 若い世代の健康に関する情報収集	健康介護課	▶				
3. 新規健康づくり事業の実施方法及び「健康マイレージ事業」利用拡大に向けた取組内容の検討	健康介護課	▶				
4. 検討結果に基づき、各種健康づくり事業の積極的周知及び実施	健康介護課		—————▶			
5. アンケート調査による評価・検証	健康介護課					▶

### 進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<b>(1)オンライン相談事業の実施</b> 引き続き、広報やホームページ等で周知を行い、要望に応じて相談事業を行います。	<b>(1)オンライン相談事業の実施</b> 広報やホームページ、チラシ、保健センターガイドで周知を行いました。
	<b>(2)検討結果に基づき、各種健康づくり事業の積極的周知及び実施</b> ・野菜を題材とした料理写真を通年で募集し、広報紙等を通じて紹介することで、家庭における野菜の摂取を促します。 ・動画視聴による運動プログラム「お家でFit！運動オンデマンドレッスン」（7月～10月）を実施します。また、夏休みの時期を利用した「親子ウォーキング教室」や、秋に若い世代を対象とした「スッキリ運動教室」を開催し、運動習慣の形成をサポートします。取組にあたっては、広報やホームページ、チラシの配布に加え SNS を積極的に活用し、事業のPRを行います。	<b>(2)検討結果に基づき、各種健康づくり事業の積極的周知及び実施</b> ・野菜を題材とした料理写真を通年で募集し、上期は20件の応募がありました。広報紙等を通じて紹介することで、家庭における野菜の摂取を促しました。 ・動画視聴による運動プログラム「お家でFit！運動オンデマンドレッスン」（7月～10月）を開始し、上期は198名（うち20代～40代は101名）の参加がありました。また、夏休み親子運動教室（7月31日・16組25人）を開催したほか、若い世代を対象とした「スッキリ運動教室」（9月、10月・5回）を開始しました。町公式LINEによる申込を取り入れたことで、参加者数の増加につながりました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

	実施予定	実施結果
下期	<p><b>(1)オンライン相談事業の実施</b> 引き続き、広報やホームページ、チラシ等で周知を行い、要望に応じて相談事業を行います。</p> <p><b>(2)検討結果に基づき、各種健康づくり事業の積極的周知及び実施</b> 健康マイレージ事業では、11月に「(仮称)健康ラリー」とALKOOと連動したウォーキング教室を開催し、ウォーキングによる健康づくりを促します。その他、ホームページに掲載している親子向けレシピを更新し、家庭における献立作成のサポートを行います。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

互いに人権を尊重しあい、真に豊かな安心して暮らしていける社会を実現するため、人権や平和に関する啓発活動を実施します。

成果目標（令和7年度までに）

人権・平和に関する啓発事業に参加した市民の意識・関心が向上した割合 80%

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 人権尊重意識の啓発事業	総務課 教育推進課	→				
2. 学校における人権教育	総務課 教育推進課	→				
3. 生涯学習における人権教育	総務課 教育推進課	→				
4. 男女共同参画プランの推進	総務課	→				
5. 性的少数者（LGBT）への理解促進と支援	総務課	→				
6. 平和への意識を高めるための啓発活動の推進	総務課	→				

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<b>(1)人権尊重意識の啓発事業</b> 正しい人権感覚を養うため、教職員を対象に研修会を実施します。	<b>(1)人権尊重意識の啓発事業</b> 正しい人権感覚を養うため、教職員 149 名の出席（オンライン参加を含む）のもと、研修会（8月23日）を実施しました。
	<b>(2)(3)学校・生涯学習における人権教育</b> 出前講座メニュー「みんなで学ぼう身近な人権」、「男女共同参画社会がまちを変える！」を用意します。	<b>(2)(3)学校・生涯学習における人権教育</b> 出前講座のメニューに「みんなで学ぼう身近な人権」、「男女共同参画社会がまちを変える！」を用意しました。
	<b>(4)男女共同参画プランの推進</b> 男女共同参画の意識づくりや固定的性別役割分担意識の解消を図るため、男女共同参画社会推進会議において、情報誌の発行及びセミナーの開催について検討します。	<b>(4)男女共同参画プランの推進</b> 男女共同参画の意識づくりや固定的性別役割分担意識の解消を図るため、男女共同参画社会推進会議（7月26日、9月10日）を開催し、今年度の事業について検討しました。
	<b>(5)性的少数者（LGBT）への理解促進と支援</b> 性的少数者への理解を深めるための人権・男女共同参画職員研修の準備を行います。県内市町村との自治体間連携を実施します。	<b>(5)性的少数者（LGBT）への理解促進と支援</b> 性的少数者への理解を深めるための研修開催のため、講師の選定・調整を行いました。
	<b>(6)平和への意識を高めるための啓発活動の推進</b> 「～ヒロシマ・ナガサキ～原爆写真展」を図書館で開催します。また、埼玉県平和資料館及び宮代町郷土資料館と連携し、動画視聴、企画展示を行います。	<b>(6)平和への意識を高めるための啓発活動の推進</b> 「～ヒロシマ・ナガサキ～原爆写真展」（7月19日～8月10日）を図書館で開催しました。また、市民団体の協力のもと、戦争に関する絵本の読み聞かせを実施しました。

	実施予定	実施結果
下期	<p><b>(1)人権尊重意識の啓発事業</b> 正しい人権感覚を養うため、町職員や教職員等を対象に研修会（2月）を実施します。</p> <p><b>(2)(3)学校・生涯学習における人権教育</b> 人権意識の高揚と差別のない明るい社会づくりの推進を図るため、児童生徒の作成した人権作文の選考を行い、人権文集「あおぞら」の編集・刊行を行うとともに、代表児童生徒による人権作文発表会(12月)を開催します。</p> <p><b>(4)男女共同参画プランの推進</b> 男女共同参画の意識づくりや固定的性別役割分担の解消を図るため、男女共同参画社会推進会議のメンバーとともにセミナーの実施及び情報誌を発行（広報1月号に封入）します。</p> <p><b>(5)性的少数者（LGBT）への理解促進と支援</b> 性的少数者への理解を深めるため、人権男女参画職員研修（1月）を実施します。</p> <p><b>(6)平和への意識を高めるための啓発活動の推進</b> 令和7年度は戦後80年を向かえることから、平和記念事業について検討します。</p>	
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

## チームみやしろ会議

企画財政課

### 企画趣旨

東武動物公園駅西口周辺エリアを対象に、東武動物公園や日本工業大学などのキープレイヤー同士が連携する組織を設立し、地域のブランド力向上やイメージアップを図ります。

### 成果目標（令和7年度までに）

チームみやしろ会議をきっかけとした新たな活動の誕生 年3件

### 実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. チームみやしろ会議のコンセプトの整理と会議の設置	企画財政課	→				
2. チームみやしろプラットフォームの検討と試行	チームみやしろ会議		→			
3. チームみやしろプラットフォームの本運用	チームみやしろ会議			→	→	→
4. チームみやしろ会議のプレイヤーによる実践	チームみやしろ会議		→	→	→	→

### 進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1) チームみやしろプラットフォームの本運用 「この人の話が聞きたい」を定期的（上期で2回）に開催します。</p> <p>(2) チームみやしろ会議のプレイヤーによる実践 引き続き、チームみやしろ会議で繋がった方同士で始めた新たな活動の実例を調査します。また、町ホームページや SNS 等でこれまでの実例を紹介し、活動のきっかけづくりを行います。</p>	<p>(1) チームみやしろプラットフォームの本運用 無印良品東武動物公園駅前「Open MUJI 学び舎」を会場として、「この人の話が聞きたい」を定期的（5・8月の2回、参加者 延べ64名）に開催しました。</p> <p>(2) チームみやしろ会議のプレイヤーによる実践 チームみやしろ会議で繋がった方同士で始めた新たな活動の実例を調査し、10件の報告がありました。また、新たな活動やつながりを生み出すきっかけづくりのひとつとして、これまでの実例を1件取材し、町ホームページや SNS 等で紹介しました。</p>
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了
下期	<p>(1) チームみやしろプラットフォームの本運用 「この人の話が聞きたい」を定期的（下期で2回）に開催します。</p> <p>(2) チームみやしろ会議のプレイヤーによる実践 引き続き、チームみやしろ会議で繋がった方同士で始めた新たな活動の実例を調査します。また、町ホームページや SNS 等でこれまでの実例を紹介し、活動のきっかけづくりを行います。</p>	<p>□完了   □未完了   □一部未完了</p>
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

現実に起こりうる災害を想定し、行政、消防団はもとより、自主防災組織、学校等の関係団体とともに、実際の避難行動の一連の流れを体験する防災訓練を実施し、防災力を強化します。

成果目標（令和7年度までに）

自主防災会訓練実施率 100%

我が家の避難計画「マイ・タイムライン」の作成率 50%

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 合同の実働訓練の実施	町民生活課 関係団体	→				
2. 実践的なテーマによる自主防災会の訓練の実施	町民生活課 自主防災会	→				
3. 実践的な訓練等を踏まえた防災体制の見直し	町民生活課	→				
4. 民間企業等との災害協定の拡充	町民生活課	→				

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p><b>(1)合同の実働訓練の実施</b>                      発災時に必要な知識を習得するため、避難所開設訓練等の準備を行います。                      また、地域防災訓練（10月）の実施に向けて、地域防災訓練実行委員会を開催するとともに、関係団体と調整を行います。</p>	<p><b>(1)合同の実働訓練の実施</b>                      避難所開設訓練（1月）の実施に向けて、開催日、会場等を決定しました。                      また、地域防災訓練（10月）の実施に向けて、地域防災訓練実行委員会（3回）を開催し、関係団体と調整を行いました。</p>
	<p><b>(2)実践的なテーマによる自主防災会の訓練の実施</b>                      町から実践的なテーマを提供し、地域の自主防災訓練の実施を促進します。また、町職員が訓練等を訪問し、災害時に備えたマイ・タイムラインの普及を促します。</p>	<p><b>(2)実践的なテーマによる自主防災会の訓練の実施</b>                      自主防災組織連絡協議会（5月）を開催し、訓練で取り組みやすいテーマ「防災資機材を使ってみよう！」を提案することで、地区の防災訓練の実施を促進しました。また、町職員が地区の訓練等を7回訪問し、マイ・タイムラインや防災無線フリーダイヤル等の普及を促しました。</p>
	<p><b>(3)実践的な訓練等を踏まえた防災体制の見直し</b>                      防災意識の向上を目的に、若い世代へ向けての新たな啓発活動を検討します。                      また、訓練等から得た情報を基に、備蓄状況や避難所環境の改善を行います。</p>	<p><b>(3)実践的な訓練等を踏まえた防災体制の見直し</b>                      若い世代へ向けての啓発活動として、スポーツフェスティバルへの参加を企画し、準備等を行いました。                      また、これまでの訓練等から得た情報を基に、防災倉庫内の整理を行いました。</p>

	実施予定	実施結果
上期	<p><b>(4)民間企業等との災害協定の拡充</b>            既存の災害協定内容の確認を行い、必要な支援内容の検証を行います。</p>	<p><b>(4)民間企業等との災害協定の拡充</b>            永嶋庄兵衛商店（春日部市）と災害時における物資供給（精米・無洗米）に関する協定書を締結（9月13日）したほか、無印良品と災害協定に向けた意見交換を行いました。            また、既存の協定の内容を確認し、協定の拡充に向けて検討を行いました。</p>
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了
下期	<p><b>(1)合同の実働訓練の実施</b>            避難所開設訓練（1月）に向けて、実施計画を作成し、訓練を実施します。            また、地域防災訓練（10月）に向けて、準備や関係団体との調整を進め、訓練を実施します。</p> <p><b>(2)実践的なテーマによる自主防災会の訓練の実施</b>            自主防災訓練の訓練状況を把握し、次年度のテーマを検討します。            また、町職員が地区の訓練等を訪問し、災害時に備えたマイ・タイムラインの普及を促します。</p> <p><b>(3)実践的な訓練等を踏まえた防災体制の見直し</b>            若い世代へ向けての啓発活動として、スポーツフェスティバル（10月）への参加準備を行い、防災ブースにて啓発活動を実施します。            また、これまでの訓練等から得た情報を基に、備蓄状況や避難所環境の改善を行います。</p> <p><b>(4)民間企業等との災害協定の拡充</b>            既存の災害協定内容の確認を行い、必要な支援内容の検証を行います。            また、協定の拡充に向けて検討を行います。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

買い物や電球交換など高齢者の日常生活のちょっとした困りごとをサポートする地域内の助け合い活動の組織化を支援し、広げていきます。

成果目標（令和7年度までに）

新たな助け合い活動を実施するグループ 5 団体以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 高齢者向けサービスの情報伝達	健康介護課 社会福祉協議会		→			
2. 助け合い活動グループの育成・支援	健康介護課 社会福祉協議会		→	→	→	→
3. 生活支援の担い手の発掘	健康介護課 社会福祉協議会			→	→	→

■工程の見直し（令和5年度）

高齢者のニーズに応じた様々な助け合い活動を広げていくため、実施項目 3 に「生活支援の担い手の発掘」を追加しました。

進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1) 高齢者向けサービスの情報伝達 令和5年3月に発行した「高齢者困りごとサポート冊子」を改良するための準備を行います。	(1) 高齢者向けサービスの情報伝達 改訂に向けた準備として、サロンや健康づくり団体の活動一覧について、活動内容の変更の有無を確認しました。また、それ以外の部分は、11月以降の生活支援体制整備協議体にて、協議体メンバーと内容の確認を行うこととしました。
	(2) 助け合い活動グループの育成・支援 「コバトン ALK00 マイレージ」への移行ができない方への支援イベントを（株）御用聞きと共催で行い、困りごとの解消とともに（株）御用聞き認知度を上げます。	(2) 助け合い活動グループの育成・支援 移行支援イベントを進修館（5月）、和戸公民館（6月）、川端公民館（7月）にて開催し、のべ12名のアプリ移行の困りごとを解決するとともに、活動PRを行いました。また、姫宮南団地で結成（3月）したお困りごとサポート隊のPRとして、移動スーパーのお客さんに対し、サポート隊メンバーとチラシ配り（6月）を実施し、9月までに6件の困りごとを解決しました。
	(3) 生活支援の担い手の発掘 縁じよい交流会にて、社会福祉協議会の「笑顔のチケット事業」のPRと既存団体の周知を行い、担い手発掘へと繋がります。	(3) 生活支援の担い手の発掘 地域支え合い講座（8月17日・31名）を開催し、これからの新しいつながり方についての理解を深めることができました。また、落語講演会（9月28日）後の交流会への参加を促し、4名が参加しましたが、生活支援活動団体につなぐことはできませんでした。
		□完了 □未完了 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未完了

	実施予定	実施結果
下期	<p><b>(1)高齢者向けサービスの情報伝達</b> 令和5年3月に発行した「高齢者困りごとサポート冊子」の改訂版を発行します。</p> <p><b>(2)助け合い活動グループの育成・支援</b> 姫宮南団地で結成したお困りごとサポート隊の活動PRやメンバーを増やすためのPRを実施します。</p> <p><b>(3)生活支援の担い手の発掘</b> 認知症カフェ（オレンジカフェ）の運営をサポートするボランティアを増やすきっかけとして、認知症カフェボランティア講座を開催します。 小学校のプログラミング授業のサポートやシニア向けのスマホ相談会を開催する「宮代町プログラミング・ラボ」のメンバーを増やすための「はじめてのプログラミング講座」を開催します。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

## 日工大サイエンスプロジェクト

教育推進課

### 企画趣旨

小中学校の理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学体験を通して、子どもたちが興味をもって、自ら学ぶプロジェクトを始動します。

### 成果目標（令和7年度までに）

理科が好きという児童生徒 80%以上（アンケート調査）

### 実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 日本工業大学の設備、先生に関する情報収集	教育推進課	→				
2. 学校の教育課程の確認	教育推進課	→				
3. 必要な支援方法の検討	教育推進課		→			
4. 日本工業大学、学校、教育委員会との情報交換会の実施	教育推進課		→			
5. 日工大サイエンスプロジェクトの実施	教育推進課		→			

### 進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<b>(1)日工大サイエンスプロジェクトの実施</b> 令和5年度の反省を踏まえ、町内全小学校での実施に向けた検討を行います。また、中学校の授業内容の再検討を行います。	<b>(1)日工大サイエンスプロジェクトの実施</b> 日本工業大学の3名の先生方と小学校・中学校の授業実施に向け、内容等について検討（6月27日、9月12日）を行いました。
	<b>(2)日工大サイエンスプロジェクト教職員研修の実施</b> 令和5年度の反省を踏まえ、研修内容の再検討を行い、8月下旬に日本工業大学にて教職員研修を実施します。	<b>(2)日工大サイエンスプロジェクト教職員研修の実施</b> 日本工業大学の3名の先生方と小中学校教職員研修の実施に向け、内容等の再検討（6月27日）を行いました。その結果等を踏まえ、日本工業大学において、2学期以降の学習内容を中心とした研修（8月26日・教員21名）を実施しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了
下期	<b>(1)日工大サイエンスプロジェクトの実施</b> <b>【小学校の授業の実施】</b> 小学校6年生を対象に、日本工業大学において、「環境」をテーマとした講義及び見学等を実施します。	
	<b>【中学校の授業の実施】</b> 中学校2年生を対象に、日本工業大学において、「電気」「科学」をテーマにした講義及び体験等を実施します。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

公共施設マネジメント計画 2.0

企画財政課

企画趣旨

平成 23 年 11 月に策定した公共施設マネジメント計画から 10 年。新たなマネジメント計画をつくり今後の公共施設のあり方、施設の機能転換など、中期的なビジョンを定めます。

成果目標（令和 7 年度までに）

公共施設マネジメント計画 2.0 の策定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 策定方針の検討	企画財政課	→				
2. 公共施設マネジメント会議の開催	企画財政課	→				
3. 無作為市民ワークショップの開催	企画財政課	→				
4. 公共施設マネジメント計画の策定	企画財政課	→				
5. 計画に基づく再編へ向けた準備	企画財政課		→			

進捗状況（令和 6 年度）

	実施予定	実施結果
上期	<b>計画に基づく再編へ向けた準備</b> 公共施設の更新や再編の検討にあたっては、第 2 期公共施設マネジメント計画や個別施設計画と照らし合わせながら検討が進められているか、関係部署とのヒアリング等を通して情報の共有と方向性の確認を行います。また、健全で持続可能な財政運営を実現するため、更新費用の削減や国や県の財政支援の活用等を行います。	<b>計画に基づく再編へ向けた準備</b> 公共施設の更新や再編の検討にあたり基礎資料となる個別施設計画について、各部署で所管している公共施設のカルテ情報（利用状況、運営状況、修繕履歴等）の更新を行いました。 また、小学校の再整備や新ごみ処理施設の更新にあたり、国や県の財政支援を有効に活用するため、関係部署とともに検討を行いました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了
下期	<b>計画に基づく再編へ向けた準備</b> 公共施設の更新や再編の検討にあたっては、第 2 期公共施設マネジメント計画や個別施設計画と照らし合わせながら検討が進められているか、関係部署とのヒアリング等を通して情報の共有と方向性の確認を行います。 また、健全で持続可能な財政運営を実現するため、更新費用の削減や国や県の財政支援の活用等を行います。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

## 企画趣旨

社会の変化に対応した最良な教育環境を子どもたちに提供するために、小中学校の適正な配置を進めていきます。

## 成果目標（令和7年度までに）

審議会の答申を踏まえた小中学校の適正配置計画の再検討及び見直し  
見直し後の小中学校の適正配置計画に基づく取組の実施

## 実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 計画の再検討及び見直し	教育推進課	→				
2. 計画に基づく取組の実施（須賀小学校地域拠点施設の整備）	教育推進課		構想	計画	設計	工事

## ■工程の見直し（令和5年度）

須賀小学校地域拠点施設の整備が決定したため、実施項目2「計画に基づく取組の実施」の具体化を行いました。

## 進捗状況（令和6年度）

	実施予定	実施結果
上期	<b>計画に基づく取組の実施</b> ・須賀小学校地域拠点施設の設計事業者をプロポーザルにより選定します。 ・地域拠点施設の関係者等で構成する外部組織を立ち上げます。 ・上記組織及び設計事業者と共に、基本設計に向けた施設配置等の検討を行います。	<b>計画に基づく取組の実施</b> ・須賀小学校地域拠点施設の設計事業者をプロポーザルにより選定（7月）しました。 ・地域拠点施設の関係者等で構成する外部組織を立ち上げ（7月～9月）しました。 ・上記組織及び設計事業者と共に、基本設計に向けた施設配置等の検討（9月）を行いました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了
下期	<b>計画に基づく取組の実施</b> ・地域ワークショップや関係者ヒアリング等を実施し、設計に際しての意見やアイデア等を聴取します。 ・県や庁内関係部署等と協議し、法的な制限や補助金等に関する調整を実施します。 ・須賀小学校地域拠点施設整備推進委員会を開催し、学校や地域の関係者、PTA等と調整を図りながら基本設計を作成します。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了